

様式 12：テーマ1「親しみやすさと力強さを備えた機能的な施設づくり」及びテーマ2「周辺環境と調和し警察らしさを感じさせる魅力ある施設づくり」についての提案

■公園のような親しみやすい「交番所」

アイランド敷地の特性を生かし、公園のような滞在型の交番を提案します。

交番の由来は由来は「交替で番をする所」ということから「交番所」と呼ばれたと言われています。この交番所はその後、建物を建てて、そこで仕事をする現在の形に変わりました。もとは場所が起源という由来から「交番所」という考えのもと、建築だけでなく敷地全体を交番という場所にします。

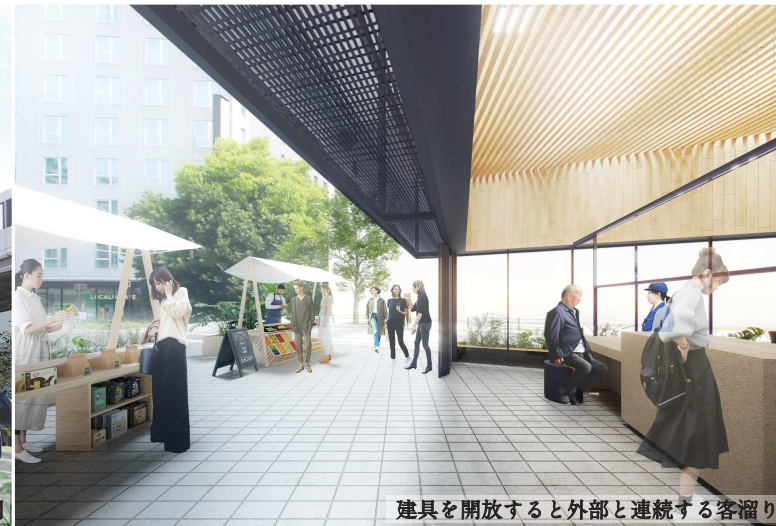
場所をオープンにし、街歩きの休憩所や市民の交流の場所として。生活の一部に溶け込むことのできる公園のような「交番所」を提案します。



視認しやすく街と警察の特徴を表す外観



公園のような外部空間



建具を開放すると外部と連続する客溜り

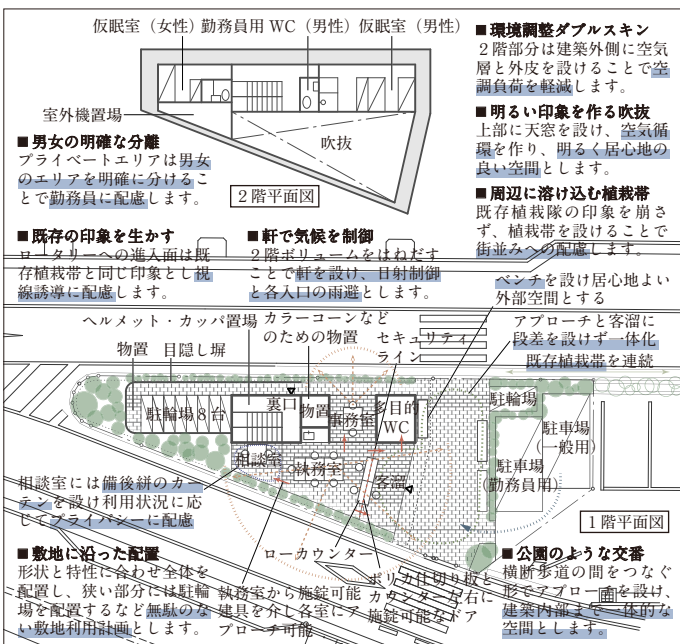


既存植栽帯を踏襲した外構



見通しの良い執務室

■テーマ1「親しみやすさと力強さを備えた機能的な施設づくり」について



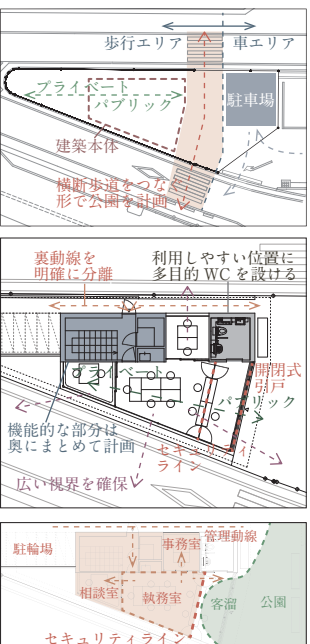
■開かれた場所をつくる
横断歩道の延長のエリアを公園のように構成とすることで、利用しやすい明快な動線とします。開かれた印象とし、敷居を下げた親しみやすい交番とします。

■明確な歩者分離で安全安心な交番
東側駐車場側に駐車場をまとめ、横断歩道の間から西側を歩行者エリアとすることで、わかりやすく、かつ安全な動線計画とします。

■見通しがききつつも明確なセキュリティ
各室は施錠可能なガラス建具で仕切ることによって圧迫感がなく、かつセキュリティに配慮した計画とします。また室配置を奥に行くにつれプライバシーの高い計画とし、利用者に配慮します。

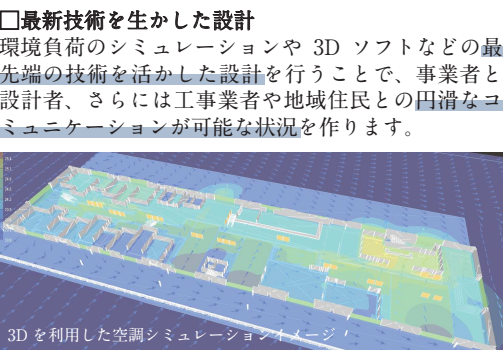
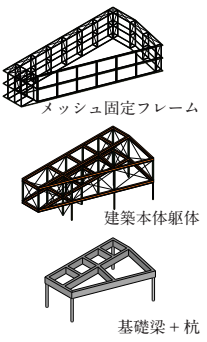
■死角を作らない平面計画
執務室から各機能が広がるような平面形状とすることで広い視界を確保します。また、建築をオープンな構成とすることで周辺に対しても警戒しやすい構成とし、警戒範囲を最大にした計画とします。

■機能を重視した無駄のない諸室計画
日常勤務の中心となる執務室を中心に放射状に諸室を配置することで機能的な施設とします。またセキュリティラインを明確にすることで安全な勤務が可能な勤務員目線の計画とします。

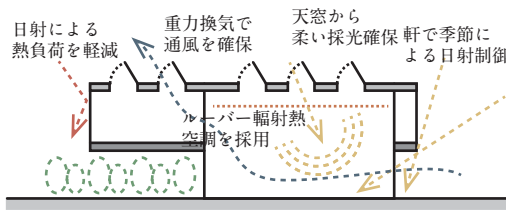


■「業務の実施方針、取組体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項」について

□場所に合った構造計画
液状化の可能性が高い地盤のため、その対策も兼ねた杭基礎を採用します。近距離で支持層レベルの差が激しいため杭を四箇所とし、全て地盤調査をしたうえで安全性を検討した構造計画とします。建築本体は跳ねだし部の壁内にブレースを配置、執務室外周に柱を落とすことで全体にバランスの取れた構造計画とします。

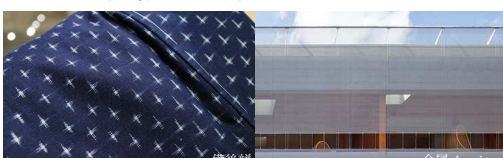


□最新技術を生かした設計
環境負荷のシミュレーションや3Dソフトなどの最先端の技術を活かした設計を行うことで、事業者と設計者、さらには工事業者や地域住民との円滑なコミュニケーションが可能な状況を作ります。

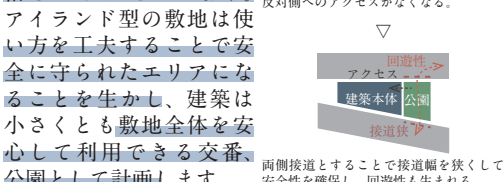


■テーマ2「周辺環境と調和し警察らしさを感じさせる魅力ある施設づくり」について

□備後絰と警察の色を踏襲した外観
福山の備後絰と警察制服の紺色の金属メッシュによる外観とし、地域性と警察の個性を表現した建築とします。2階部分は視認性の良い大きな面とし、離れた場所からも認識しやすい、訪問者にとってわかりやすい建築とします。



□敷地を活かした交番
通常の交番のように前面が道路でない状況を活かし、建築前面にもその性格をにじみださせます。アイランド型の敷地は使い方を工夫することで安全に守られたエリアになることを生かし、建築は小さくとも敷地全体を安心して利用できる交番、公園として計画します。

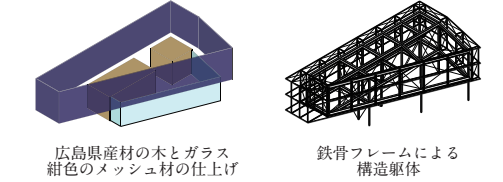


□3つの「知」をつくるワークショップ
設計・施工・運用それぞれの段階に合わせてワークショップを企画し、普段あまり接することのない地域・建築・交番それぞれについて地域住民の方々に触れていただく機会を設けます。接点を持つことで興味や愛着を作り、地域活動の拠点となることのできる交番を設計段階から企画します。



□回遊性になる交番
アイランド敷地かつ横断歩道の間を守られた敷地特性を生かし、滞留することができ、休憩所としての性格をもたせす。福山市の掲げるウォーカブルな街づくりに寄与し、駅からの回遊の出発点、また休憩所や案内書にもなる街づくり拠点交番を目指します。

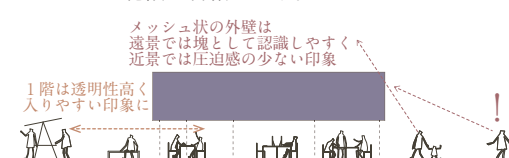
□警察らしさを体現した建築
頼りがいがあり、親しみやすい警察を体現する交番として、鉄骨の力強い素材と木の柔らかい印象の素材をバランスよく採用し、印象的な建築とします。



□幅広い意見を取り入れる設計体制
広島県下に拠点を置く意匠設計事務所を中心に多数業務に取り組んできたチームで、多様で専門深度のある知識を集結し設計に取り組みます。また建築以外にも植栽計画やサイン計画、照明計画、ワークショップの企画など多種多様な分野とのコラボレーションも積極的に検討し、施設全体を見据えた視線で取り組みます。

年度	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
超概算																
概算																
精算																
基本設計																
実施設計																
入札・工事準備																
工事(8ヶ月)																
基本計画案																
成果物提出																
基本計画案																
成果物提出																

□気軽に立寄りやすい開かれた交番
1階はオープンな施設とし、明るく訪問しやすい交番とし、相談や道案内など市民が日常的に利用しやすい地域に根ざした交番とします。また公園部分ではマルシェの誘致など積極的に市民生活になじむことのできる施設を目指します。



□県産材を積極利用
紺に染色した木製建具や壁面の仕上げに積極的に広島県産材を採用します。府中家具を採用するなど県外から訪れる方は福山市、広島県を感じることができ、かつ地域の方には親しみのある施設とします。



□細かな段階でのコストコントロール
ウッドショックなど昨今の建設事情を鑑み、積算に関しては意匠事務所とともに広島県下の事務所と協働し、各段階においてコスト確認をしつつ計画を進めます。設計の出戻りを抑えることで工程を遵守し、かつ透明性の高い設計で業務に取り組みます。

執務室	14.83㎡	勤務員用WC(男性)	1.39㎡
客室	9.51㎡	仮眠室(男性)	10.52㎡
事務室	10.0㎡	仮眠室(女性)	8.39㎡
相談室	5.25㎡	廊下など	10.01㎡
多目的WC	5.0㎡		
湯沸コーナー	1.01㎡	1階合計	51.56㎡
物置	2.32㎡	2階合計	30.31㎡
廊下など	8.64㎡	延床面積	81.87㎡